



レスリー・ロリマーさん

アメリカオレゴン州出身 / 鎌倉在住 / 英会話教室経営

島コンHP「島ぐらしガイド」では、これまで、久米島に1ターン(移住)した方や、Uターン(一度島外へ出た後、出身地に戻る)をした方に、そのきっかけや動機、その後の久米島での暮らしについてインタビューさせていただき公開してきました。そんななか、今回は、「島人インタビュー」ならぬ、「島人(にになりたい!)インタビュー」と題し、久米島が大好きで、将来の久米島移住を計画中のレスリー・ロリマーさんに、久米島の魅力、なぜ移住したいと思っているのか、移住に向けて準備中のことなどをお聞きしてみました。～以下、HP「島ぐらしガイド」しまんちゅインタビューより抜粋～

Q. 将来の移住を考えるほど久米島が大好きなレスリーさん。最初の久米島との出会いはいつだったのですか?

A. 今年の1月に初めて久米島を訪れました。寒い季節だったのでどこか暖かいところに行きたいと思って探したところ、なぜかヒットしたのが久米島でした。子どもが小さかった頃は、家族で、西表、石垣、竹富などに行ったことがあったのですが、今までどの地にも感じなかったほど「ここが好き」と思いました。1月に初めて訪れた後、3月、5月、8月、10月とほぼ2か月ごとに久米島を訪れています(笑)

Q. 久米島のどんなところを、移住したいと思うまでに気に入ったのですか?

A. ある商店に入ったときおばあちゃんに話しかけられて、それがとっても「ウェルカム～」という感じだったのです。いろいろお喋りしてくださって、「昔は沖縄から本土へ行くときにはパスポートが必要だったのよ」とか、そんな話も聞かせていただいて本当に楽しかった。そのとき、「ああ、この感じいいなあ」と思いました。また、2度目の来島時に、空港のレンタカーカウンターの方が「お帰

りなさい」と声をかけてくださいました。それもとても印象に残っています。

そしてやはり、綺麗な海、空、白いビーチも久米島を好きになった魅力としては欠かせません。こんなに綺麗な海は見たことがありませんでした。そして何より、なぜかはわからないのですが、久米島に来るといつも「いなか

に帰ってきた」みたいな気分になり、とにかくほっとするのです。
インタビューア:レスリーさんは久米島を訪れる度、島でのお友達、顔見知りが増えていきます。居酒屋の店主さん、そのお店の常連の方々、宿泊先の従業員の方や、友達から紹介されるそのまたお友達など。新しいお知り合いが出来ると、とても嬉しそうにご報告して下さいます。レスリーさんにお話を聞きながら、土地の一番の魅力は“人”であり、人が紡ぐものにあるのかもしれないと感じます。



ありがとうございました!

もっと詳しく読みたい、他の方のインタビューも読みたい方は、「久米島 島ぐらしガイド」で検索



「交流人口」ってご存知ですか?

交流人口とは、その地域を訪れる(交流する)人のことを言い、その地域に住んでいる人(定住人口)に対する概念となります。

定住人口が減少傾向にある地方で、観光客や二地域居住者といった交流人口を拡大させることで、人口減少の影響を緩和し、地域の活力を取り戻そうとする動きが広がっています。

定住人口(住んでいる人)

久米島の人口は、毎年約100名減少中
課題: 久米島の人口を増やすには?
取り組み1) 出ていく人を減らす
取り組み2) Uターン1ターンを増やす



交流人口(訪れている人)

交流人口の拡大は、人口減少問題の直接的解決ではないが、**人口減少の影響を緩和し、地域の活力**を取り戻そうとする動きにつながる

お問合せ

企画財政課 移住定住相談窓口 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索
活動場所: 仲原家(久米島町字真謝20) / 毎週火～土 10時～16時 / 日月祝休み
Tel/Fax: 098-894-6488 Mail: info@shimagurashi.net
Facebook: 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」 Instagram: 「kumejima_shimagurashi」



お知らせ

島コンホームページ「島ぐらしガイド」では、島内求人情報や住まいの情報、暮らしの情報など、移住定住に役立つ情報を掲載しています。